

Luncheon Linguistics, 16 June, 2021

2021（令和3）年6月16日

「コリヤーク語の属性叙述と事実叙述 一名詞のようにふるまう動詞に着目して」

発表者：呉人 恵（富山大学学術研究部人文科学系教授）

コリヤーク語には、形態的には名詞だが、統語的には動詞である様々な語がある。本発表では、このうち、属性叙述形式と事実叙述形式を取り上げ、両者が、静的・固定的なデキゴトの叙述をおこなう点で、時間の流れに沿った動的なデキゴトの叙述（＝事象叙述）をおこなう定形動詞と対立していることを論じる。また、このような叙述のタイプの違いは、名詞と動詞の「時間的安定性 (Temporal Stability)」(Givón 2001)の違いを反映していることも指摘する。

このような叙述タイプの対立は、コリヤーク語のデキゴト叙述の基盤となっていると考えられるが、たとえば、日本語にも人魚構文などの文末名詞文があることなどを考えると、通言語的に比較する価値のあるテーマでもあるかもしれない。